

編集の際、文章が削れたまま
行ってしまったところ、加筆します。
黄色い→のところ、
文章の一番下に挿入したかった
文章を記載しています。



おきさちさんのコラム

ナチュラルな暮らしを楽しむ

その15 太陽の力と酸素系漂白剤で「香害」をやっつけよう！

暖かくなると、なにかと臭いが気になりますね。窓を開けていると、お隣さんのベランダから合成洗剤臭が流れて来て、頭痛や吐き気に悩んでいるという話はよく聞きます。満員電車の中で、良い香り(?)がするよう、強めの香料が配合された柔軟剤のCMも増えています。これで気分が悪くなったり、咳が止まらなくなる方も。最近は香害、という言葉も頻繁に使われています。



そもそも柔軟剤に香りをつける必要はあるのでしょうか。問題なのは一部の人が良い香りと感じるものが、他の人には悪臭、と感じられること。嗅覚は特に麻痺しやすく、いつもその臭いを嗅いでいると鼻が慣れてしまうため、自分ではわからなくなります。

アロマテラピー（芳香療法）という言葉からも、香りが人体に影響を及ぼすことは明らかです。芳香で治療するなら、悪臭で病気になることもあって当然。ストレスからホルモンバランスが乱れ、自律神経や免疫系に影響が出ます。

無添加石けんの良いところは、香りが付いていないこと。洗濯物の汚れが落ちていないのも、生乾きなのも、臭いでしっかりわかるほど鼻が敏感になります。保育園時代、お友達の服が紛れてきても、匂いを嗅いで「〇〇ちゃんのだ」と子どもは判別していました。現在我が家で切実なのは、給食の白衣！自分達の洗濯物とは分けて洗っています。強烈な香りがすべての洗濯物に移ってしまうから。

人工的な香料は、分解されにくいものが多く、1回の洗濯くらいでは落ちません。確実に落とすには、**酸素系漂白剤**を使います。

酸素の力で香料を化学的に分解します。**酸素系漂白剤**は、文字どおり、酸素の力で汚れや色素、細菌の細胞膜を分解します。**酸素系漂白剤**のメリットは、有害な塩素ガスやツーンとした臭いが出ないこと、ぬるぬるせず、多少触れても問題ないこと、色柄物にも使えることです。



注意点は、特に顆粒タイプの場合、アルカリ性ですので、絹やウールには使用できないこと、金属と反応するため、触媒に金属を使う草木染めの衣類や、金属製のボタンやファスナーには使えないことです。



消臭効果が強力なのがもうひとつ。

それは天日干しです。絹やウールの服

に臭いがついてしまったら、まずは外干しが鉄則です（両者とも素材そのものが紫外線に弱いので、焼肉の臭いなどでしたら、夜から干し始めて、翌朝、臭いが消えたらすぐ取りこんでください。合成洗剤の臭いは石けんで洗うしかないのですが……）。

無香料の石けんで洗った衣類を天日干した香りは、懐かしくて、優しい、焼きたてパンのような温かい香りです。この香りは長く続かないのが残念です。帰宅が遅くなってもいいよ、洗濯物や布団がほかほかのうちに自動的に取り込んでくれる物干し竿と窓、どなたか発明してくださいませんか？



興 幸子 (おきさちこ) さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、公益社団法人日本アロマ環境協会認定アロマテラピー検定1級、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー

天日干しです。
紫外線の力で殺菌し、
風の力で臭いを吹き飛ばします。
頻繁には洗えない、絹やウールの服に
臭いがついてしまったら、